

韓国中央部の名山を巡る 韓国・俗離山(ソンニ山) 徳裕山(トギョ山)

実施日 2010年5月26日(水)～31日(月)

天候 全日程晴れ、時々曇り

リーダー 若村 勝昭

参加者 若村貴世子、近田芳子、若村勝昭、中村友子 計4名

費用 約8.5万円(航空運賃、国内交通費、宿泊費、食事代など)

今回は円高傾向で、100ウオンが約8円なのでお得な山行でした。参考までに上記に記した以外の費用をご紹介します。

いずれも1人分です(タクシーや食事は人数で割りました)。

航空券(燃油、国内外空港使用料、発券手数料等)39,100円

国内交通費

インチョン空港-チョンジュ市(B)1,400円

チョンジュ市-ソンニ山 BS(B)600円

テジョン BS-テジョン駅 タクシー 100円

テジョン駅-ソウル駅新幹線 1,150円

ソウル市内地下鉄(ノ回)120円

東横イン-漢江遊覧船乗り場(タクシー)220円

漢江遊覧船(ライブとウォーターショー付)1,200円

ソウル市-インチョン空港 リムジンバス 1,040円

ゴントラ片道 640円

食事+飲み物

(飲物はビール、どぶろく、焼酎、すぐりワイン、コーラ等)

マツタケ鍋コース+飲み物 1,920円

豚サキョブサルコース+飲み物 1,600円

みそチゲ朝食 560円

川鱈刺身コース+飲み物 1,600円

タニシ汁朝食、石焼ビビンパ 600円

茹で豚、フルコギ、ムル冷麺、ビ

ビン冷麺+飲み物 2,150円

牛肉炭焼き、アサ酒蒸し+飲み物2,000円

タイム 27日 ソンニ山登山口(7:50)頂上(10:00~11:00)下山路分岐(11:30)モーター(14:00)

28日 トギョ山国立公園入口(7:50)白蓮寺(10:00)頂上避難所(12:10)頂上(12:50~13:05)ゴントラ頂上駅(13:10)シャトルハウス(15:30)ペンション(16:00)

今回の行程の流れをいわゆる山行部分から旅行部分もあわせて軽く流してみます。

26日(水) 2時少し前、韓国インチョン空港に到着、携帯電話をレンタルしてから、チョンジュ市行き高速バス乗り場を尋ねる。案内デスクのキレイなお姉さんが、バス乗り場と切符売り場まで案内してくれる。ちょっとワクワク。

2時半のバスに乗り、2時間でチョンジュ市バスターミナル、そこからソンニ山国立公園バスターミナルまで1時間半乗り継ぐ。

あたりは薄暗くなり、人気のないバスターミナルと明かりを消した門前町に着く。これから宿と食堂探し。「泊まるどころあるかなー？」と不安がよぎる。予約はしていない。

すると、食堂の前のベンチで花札をしていたポニーテールの怪しいおじさんが「ホテルまで1キロあるよ。タクシーどう？」と誘う。

「高いホテルはきらい。民宿ない？」
「あるよ。訊いてあげる」と携帯。意外に親切。

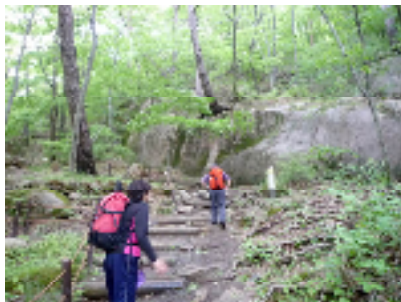
早速迎えが来て、モーターへ。日本でモーターはちょっと恥ずかしいが、韓国では庶民的なホテルのこと。オンドル部屋で1泊1室2,400円を2室(一人1,200円)。

夕食はさっき紹介してくれたおじさんの食堂で、マツタケ鍋コース。メインの鍋の前に小皿のおかずがずらっとならぶ。

この小皿のおかずをパンチャンといいます。お代わり自由。ビールとどぶろくがどんどん進む。ドンドン酒と云います。締めは雑炊。

コンビニで明日の昼食ラーメンとパンを買って部屋へ。

27日(木) 朝食は昨日の食堂のミソチゲ定食、おかずいっぱいでごはんおかわり。

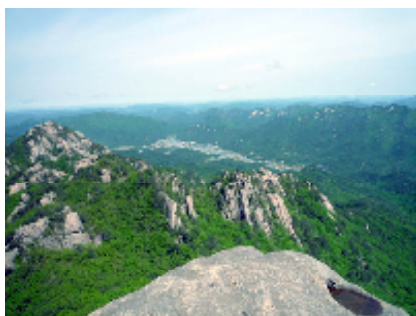


女性陣が主人に交渉して、登山口まで車で送ってもらう。これはありがたかった。なければ、車道を1時間は歩くことになる。女性は強い。

登山口から間もなく山道、しかし、よく整備され歩き易い。

途中の茶店でおばさんの「休んでいきなさいよ〜」に一服。純血種の珍島犬がお迎え。天童よしみの珍島物語(♪)を口ずさむ。大ファン。

ここから2時間、ソンニ山頂上はこんもりした岩山で展望絶景。思わず歓声。少し稜線を



は救急薬品のセットボックスがあり、緊急時に備えている。

縦走し、三つ先のピーク脇から下山する。登路より荒れているが危険箇所なし。所要所要には

朝の登山口の所で登路と合体、そこから車道を歩き、法住寺の20mの黄金仏を拝みモーターへ。長かった。

着替えもそこそこトランクを持って、またまた食堂のおじさんの白タクアルバイトに乗り、長躯トギユ山山麓九千洞までワゴン車の旅。

本来、ソンニ山バスターミナルからテジョン市まで2時間、そこからまた2時間、乗り継ぎ時間を加えると5時間以上のバス旅をしないとイケない。しかし、白タクのお陰で2時間半で九千洞に着いた。白タクのタクシー代12,000円。おまけに九千洞のペンションまで探して交渉してくれた。意外に親切。

ペンションはコンド風で簡単な厨房もついている。清潔で広いオンドル部屋、しかし料金はちょっと高く1泊1室4,800円(一人2,400円)。ここに2泊する。

ゆっくりシャワーをして、溪谷の公園を散歩してから門前町の食堂へ。今日は豚サムギョップサル。テーブルいっぱいのおかず(パンチャン)と三段バラ肉(若村ではなく、豚肉)を焼く。今日も飽食、鯨飲。食後反省。

28日(金)

今日は韓国4番目の高峰(1,600m)トギユ山へ。

溪谷脇の車道を白蓮寺まで2時間。ちょっとつらい。お寺の境内から登山路、歩きやすく危険な箇所なし。ゆっくりゆっくり。他の登山者もゆっくり歩いているようだが、いつの間にか追い越され我々だけになる。鶯の



鳴き声を楽しむ。不思議なことに「ホーホケキョ」と日本語で啼く。

やがて、頂上下の山小屋(待避所という。小屋番もいて1泊素泊まり640円)。はるかに智異山を望む。

そこから200mで頂上。ここで山から観光地に一変。ゴンドラで上がってきた観光客が大勢で賑やか。登山のウェアはショッキングピンクと黄色の極彩色が氾濫。ウン、韓国だ！！



今日は、他人に施しをする日らしい。栗、おもち、ミニトマト、蛸とイカの燻製などをいろんな人から貰う。

ゴンドラ頂上駅で登山終了、レストランで生ビール、チジミ、トットリム(どんぐりこんにゃく)のサラダで乾杯。ホントに美味しい。

ゴンドラを降りて無料シャトルバスで九千洞へ戻る。

夕食は門前町の川魚専門食堂に行き、川鱒の刺身コース。沢山のパンジャンと、きれいな朱色の刺身、メウンタン(辛い鍋)、ビビンパ。刺身はにんにくと青唐辛子のスライス、辛いみそと一緒にサンチュと荳胡麻の2枚重ねの葉で包んでほうばる。ほっぺ落ちこちる。生にんにくもみんな食べれば怖くない。飽食、鯨飲、反省。



29日(土) 昨日で登山は終了、ソウルへの移動日なのでなんとなくノンビリ。朝食は名物のタニシ汁と石焼ビビンパ。

10時40分に門前町のはずれのバス停からテジョン行きのバスで2時間。テジョンバスターミナルからはテジョン駅までタクシー。荷物が多く4人もいたので軒並み乗車拒否。何台目かの優良タクシーになんとか乗れた。運転手はご機嫌で曼荼羅経を詠む。仏像カードもくれたのでチップ少々。

テジョン駅からは新幹線(KTX)の指定券も首尾よく買えて、車内でキンパ(海苔巻)のお昼ごはん。小一時間でソウル到着。

地下鉄で東大門歴史文化公園前駅、4番出口から3分の東横インホテル(日系)へチェックイン。シングルルーム1泊4,500円。

夕食は近所の有名食堂で、茹で豚(にんにくとみそと一緒にサンチュで包む)、プルコギ、スープ冷麺、ビビン冷麺。

メンバーの一人が以前、JR中央線で知り合った韓国女性2人と一緒に賑やかに食べる。食後はコーヒー店で甘い甘いパッピンス(大盛りクリーム氷あんみつ)。

30日(日) 南大門市場、仁寺洞、三清洞を買い物と散策、ロッテマートでお買い物と定番コース。夜は漢江の夜景クルーズ。



夕食はこれも定番牛肉炭焼、アサリ酒蒸しなど飽食、鯨飲。

31日(月) 東横イン前から10時10分のリムジンバスに乗りインチョン空港へ。14:15の全日空機で一路成田へ予定通り。

(記・若村 勝昭)
(写真提供・中村友子/近田芳子)